後発医薬品使用体制加算に関する院内掲示

■当院では患者様の負担を軽減するため適正な品質評価を行った上で後発医薬品(ジェネリック医薬品)の採用を推進しています。

後発医薬品とは

後発医薬品(ジェネリック医薬品)とは、先発医薬品(新薬)の特許が切れた後に販売される、先発医薬品と同じ有効成分、同じ効能・効果をもつ医薬品のことです。

先発医薬品より安価で、効き目や安全性は先発医薬品と同等です。

○医薬品の供給が不足した場合に、医薬品の処方等の変更等に関して適切な対応ができる体制を整えております。

○医薬品の供給状況によって投与する薬剤が変更となる可能性がありますが、その際は患者様にご説明いたします。

医療法人社団聖心会　阪本病院

もっと詳しく知りたい場合は？

医師・薬剤師に、
お気軽にご相談ください。

ジェネリック医薬品は医療用医薬品ですから、病院や診療所の医師による処方せんが必要です。詳しくは、かかりつけの医師や薬局の薬剤師にご相談ください。

【お問い合わせ】

- 厚生労働省
  TEL　03-5253-1111
- 独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）
  （くすり相談窓口）
  TEL　03-3506-9457
- 公益社団法人日本薬剤師会（くすり相談窓口）
  TEL　03-3353-2251
- 日本ジェネリック製薬協会
  TEL　03-3279-1890
- 一般社団法人日本保険薬局協会
  TEL　03-3243-1075
- 一般社団法人日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会
  TEL　03-3438-1073
- NPO法人　ジェネリック医薬品協議会
  TEL　0557-52-4886

●ジェネリック医薬品に関する情報は
厚生労働省　厚生労働省 ジェネリック　検索

お薬を使うすべての方に知ってほしい制度です。

医薬品副作用被害救済制度

医薬品は正しく使っていても、副作用の発生を防げない場合があります。

そこで、医薬品（病院・診療所で処方されたものの他、薬局等で購入したものも含みます。）を適正に使用したにもかかわらず、その副作用により入院治療が必要になるほどの重篤な健康被害が生じた場合に、医療費や年金などの給付を行う公的な制度が、医薬品副作用被害救済制度です。

●この制度に関する情報は
Pmda 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構
副作用 救済 または PMDA　検索

2022.3

ジェネリック医薬品の選択は、自己負担の軽減だけでなく、医療費全体の抑制にもつながります。

ジェネリック医薬品を使ってみませんか！
厚生労働省も使用を推奨しています。

ジェネリック医薬品は、これまで使われてきたお薬の特許が切れた後に、同等の品質で製造販売される低価格のお薬です。

厚生労働省

どのくらい安いの？

お薬の価格は5割程度、
中にはそれ以上
安くなる場合もあります。

新しい医薬品は開発に長い時間と多くの費用がかかりますが、ジェネリック医薬品は開発期間が短くて済むので、その分価格が安くなります。

※窓口でお支払いいただく患者負担金は、お薬の費用のほか、調剤料などが加わります。

効き目は確か？

効き目はもちろん、
安全性も同等ですので、
安心して使うことができます。

ジェネリック医薬品は、これまで効き目や安全性が実証されてきたお薬と同等と確認された上で、製造、販売が認可されています。

種類はあるの？

さまざまな病気や
症状に対応して
います。

高血圧や高脂血症のお薬、糖尿病のお薬など、さまざまな病気や症状に対応しています。カプセル、錠剤、点眼剤など形態も豊富です。

※すべてのお薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。